

小学校

光村ポケット 英語

Here We Go!

実践紹介

自律的な学習者を育成するために

小学校外国語科での主体的な学び
Vol.3 学びを振り返る

琉球大学附属小学校
奥平 明香先生



光村図書



LINE公式アカウント友だち募集中!
授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



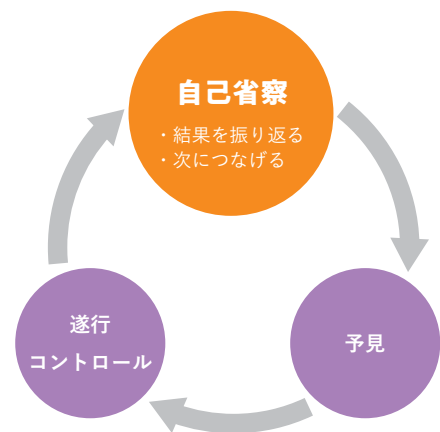
自律的な学習者を育成するために

小学校外国語科での主体的な学び Vol.3 学びを振り返る



琉球大学附属小学校
教諭
おくひら きやか
奥平 明香 先生

「自らの学びを舵取りできる、自律的な学習者の育成」をテーマにした連載の、最終回です。前号では、「遂行・コントロール」段階を取り上げました。今号では、「自己省察」段階について、私の普段の取り組みをご紹介します。



樽山敏郎（2022）『個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」』明治図書出版。
樽山敏郎（2024）『個別最適な学び・協働的な学びを実現する「学びの文脈」2』明治図書出版。
木村明憲（2024）『自己調整方略』明治図書出版。
白杉亮（2025）『自己調整につながる学習理論をビジュアルでまとめました』明治図書出版。
をもとに筆者作成

大切にしたいこと

「次の学習のための振り返り」であることを意識する

「振り返り」という言葉から、「本時や単元の学習内容が、確実に定着しているかを振り返ることが重要」とお考えの先生方は多いのではないのでしょうか。しかし、上記のサイクルを見ればわかるように、振り返り（自己省察）は、次の学習につなげるためのものです。

そのためには、何を・どのように振り返らせればよいのでしょうか。私たち教師は、語句や表現が身についているかに関心が向いてしまいがちですが、それだけでは、学びは次につながっていきません。私が特に大切にしているのは、学習を自己調整する力や学習方略が身についているかどうかです。自分に必要な学び方に気づくことができれば次時の学習に生かせますし、目標の立て方に工夫が必要だと感じたら、次の単元で目標を立てるときには修正しようという意識が働くようになります。

最初のうちは、質より量を

どんな子どもでも、「振り返り」を書くことに慣れないうちは、表面的な内容の記述にとどまるものです。私のクラスでも、最初のうちは「楽しいから、これからもカルタゲーム[※]を使って単語を練習したい」など、学習の目的とは直結しない記述が大半でした。そこで、次頁のような取り組みを通じて、子ども自身が学び方を考えたり振り返ったりする経験を積ませるようにしました。その結果、「次は、どんな言葉を返せばいいのかを知りたいから、Let's listen. の音声を聞く」など、それぞれの学習の目的に応じて、どんな学び方をすればよいのかに気づいた子どもの様子が、見られるようになっていったのです。

[※]「指導者用デジタル教科書」と、「学習者用デジタル教科書＋教材」に搭載されている機能。音声を聞いてカードを選ぶ、カルタ遊びができる。

5年 Unit 5 My hero is my brother. を例に

毎時間の自己省察段階では、次のことに取り組んでいます。

- ① 本時の成果を音声や映像で記録する
- ② 本時の到達度を Can-do 尺度に記録する
- ③ 効果的だった学習方略を振り返る
- ④ コミュニケーション活動の内容を振り返る

この①から④を、計7分を目安に行います。ここでは、②から④についてご説明します。

② 到達度を Can-do 尺度に記録する

授業冒頭の目標設定の時間に、教師から示した Can-do 尺度に対して、各児童が、どこまで到達したいかを青で丸を付けます。これを踏まえ、振り返りの時間では、どこまで到達できたかを赤で丸を付け、到達度を記録します。

第5時間目 今の自分に近いところを○でかこう!!【やりとり】		
お互いのことをもっと理解し合うために、		
④	なぜその人がヒーローなのかについて尋ねることができ、 自分にとってヒーローだと思うこと、その理由について、詳しく答えることができる。	
③	なぜその人がヒーローなのかについて尋ねることができ、 自分にとってヒーローだと思うこと、その理由をだいたい伝えることができる。	
②	相手に質問をされれば、ヘルプ（先生・友達）ありなら、 ヒーローだと思うことについて、なんとかが言うことができる。	
①	相手に尋ねられても、ヒーローだと思うことについて伝えることは、今はまだ難しい。	

児童 A が、Can-Do 尺度に目標と振り返りを記録している画面。

ポイントは、自分だけで判断するのではなく、本時の最初にやり取りをした相手の視点を入れることです。1時間の学習を通した変化を伝え合わせることで、自分に甘い児童は高く、厳しい児童は低く評価してしまうことが少なくなり、児童の自己評価力が磨かれます。

③ 効果的だった学習方略を振り返る

児童が各自の目的に応じて学習方略を実践する「学習調整タイム」（詳細は Vol. 2 参照）について振り返ります。その方略を

実際に使ってみてレベルアップできたかを振り返らせることで、自分に合った学習方略を選べるようにしていくのが目的です。下図①～③の文章の書き出しは、教師からあらかじめ示しておきます。（詳細は裏面参照）



学習調整タイムの自分のめあて※メニューから選びレベルアップ改善を目指す。
めあて：◇◇をレベルアップするために、○○を使って～～をする。
紹介する内容を考えることができる。

学習調整タイムのふりかえり ※めあて達成のために取り組んだ方法で、レベルアップできたか？
①うまく調整できたことは、紹介する内容を考えてやり取りすることができた。
その理由は、紹介する内容を考えてその内容通りにやりとりすることができたから。
②まだできなかったことは、もっと詳しくいうことができなかった。
考えられる原因は、自分は料理があまりできなくてヒーローはできると言っただけ、そのヒーローが何をつくれるかを言うことができなかったから。
③次の調整タイムは、もっと内容を深く詳しく言えるようにしたい。

児童 A が学習方略の振り返りをしている画面。

④ コミュニケーション活動の内容を振り返る

児童が本時で行ってきたコミュニケーション活動を、内容面から振り返ります。児童には、「コミュニケーション活動（言語活動）を通して、自分や相手のことを深く知る」ことを大切にしてほしいと思っており、活動にあたっての観点を右図のように示しています。この観点を振り返ることで、表現面だけでなく内容面の深め方にも気づくことができます。

- 【コミュニケーション活動からの学び】
☆コ相手さん＝友だち・先生方・教科書キャラ・ゲストさん☆
- ①自分の新たな一面や本音を発見し、よりよく伝えようとする。
- ②コ相手さんを知るために、真剣に聞いたり、尋ねたりしようとする。
- ③コ相手さんのことについて理解を深めようとする（新たな一面・共通点・ちがう点・もっと知りたい点）
- ④言語や文化の面白さについて知り、よりよい社会や平和な世界づくりに役立とうとする。

言語活動にあたって意識してほしいことを示した画面。図中のコ相手とは、「コミュニケーションを取る相手」の略。

おわりに

全3回にわたり、小学校外国語科における自律的な学習者の育成について、私の取り組みをご紹介してきました。何か一つでも、先生方の参考になっていたら幸いです。焦らず一歩ずつ、子どもたちといっしょに学んでいきましょう。

学習支援ソフトで授業をアップデートしてみませんか？

第6回

ロイロノート・スクールで作った、ポートフォリオの活用

琉球大学附属小学校 教諭 奥平 明香 先生



右図は、第2, 5回でご紹介した、私の授業で子どもたちがいつも使っている、単元全体を見渡すためのポートフォリオです。作成には、ロイロノート・スクール[※]を使用しています。ここでは、単元全体の振り返りでどんなことを書いているかをご紹介します。



5年 Unit 5 My Hero is my brother. (最終時) の振り返り記入例

- ・単元全体を振り返るときは、いつも 20 分程度の時間をとり、じっくりと記入させています。
 - ・白の破線部分をあらかじめ教師が書いておくことで、振り返りの観点が明確になります。
- 今回は、7つの観点を提示しました。

9.【単元全体の振り返り】この単元で、

①身についたことや、②自分の学び方の方など良かった点や③今後レベルアップする方法について振り返ることができる。

8 振り返り・改善【単元全体の振り返り】

- ①この単元で分かったこと・深く考えたことは、自分のヒーローのお人柄や特技、自分との関係などのいいかたと相手のヒーローのことについて気づける言いがわかった。この単元で深く自分のヒーローの大切さなどがわかった気がしたし、あまり感謝できていなかったから感謝の気持ちを言えてよかった。
- ②この単元の学び方で、一番成長したところは、一人二役で練習することです。その理由は、一人二役で練習したことによって相手に尋ねる練習にもなったし自分で答える練習にもなったからです。また、反応言葉なども練習したりできたからです。
- ③単元全体で、まだうまくいかなかったことは、反応言葉です。考えられる原因は、反応言葉を言うことはできたけど毎回同じコメント言葉しか言っていなかったからだと思う。そして、相手に聞かかけをしたりして巻き込むのもやったほうが良かったかもしれないとおもった。
- ④次の単元で挑戦・改善したいことは、もっと自分が言っていなかった反応言葉などを使って言えるようにしてやりとり系だったら相手にも巻き込んだりして一緒に楽しんでやり取りができるようにしたい。
- ⑤初めに立てたマイ・ミッション(なりたい自分) はよい目標でしたか？達成できたり、近づいたりできましたか？良い目標だったと思う。なぜなら、あまり感謝をする機会がないからやり取りの最後に自分がヒーローにたいする思い、感謝の気持ちをしっかり伝えることができたから。
- ⑥英語の学習で、自分の好きな学び方は、一人二役が友達とやり取りすること。
得意(合っていると思う)な学び方は、最初のうちはまだ言葉がわからないからチャンツなどを聞いたりして後半ではやり取りをすること。
- ⑦マイ・ヒーローを英語で伝え合えらるようになったことは、今後の人生で役に立ちそうですか？(どんな場面で、どんな時に)お母さんが困っているときなどに助けてあげたりいつも家事などをやってもらっているから手伝ったり感謝をしたりしたい。

e ポートフォリオの準備は大変かもしれませんが、まずはやってみることで、できることやできないことがわかってきます。手軽にできそうな要素から、少しずつ取り入れてみませんか。

※「ロイロノート」は、株式会社 LoiLo の登録商標です。



光村図書

教授用資料

発行者 吉田直樹
発行者 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
デザイン なるせよぞら

光村図書ウェブサイト

光村図書 | Q

